

土木計画学研究委員会シンポジウム

土木計画学とは何か？

～そのアイデンティティと今後の発展を考える～

土木計画学研究委員会が取り組んできた学問を「土木計画学」と呼称するとした場合、その「土木計画学」の展開・発展を 100 回のワンデーセミナーを中心に振り返り、それを通して、「土木計画学」とは一体何なのか、すなわち、「土木計画学」と呼ばれるものの輪郭、あるいは「土木計画学」のアイデンティティを探る。これを通して、本研究委員会メンバー各位が従事する「土木計画学研究」が一体何であるのかについての自認・自覚を改めて鮮明化・明確化し、それを通して本委員会活動の活性化、「土木計画学」の学問的発展を企図する。その上で、**広く世間一般に自らを名乗り、アイデンティティの伝達を企図する際に、いかなる「フレーム」（枠組み）が効果的であるのかを考え、これを通して本委員会活動のさらなる発展を企図する。**

プログラム

主催者挨拶：藤原章正（広島大学大学院教授・土木計画学研究委員会委員長）

基調報告：「土木計画学」の内実と拡がりを振り返る（幹事会より）

- ・本シンポジウムの趣旨（50周年シンポジウムを踏まえて） 資料 1、資料 2
- ・ワンデイセミナーの振り返り 資料 3
- ・「土木計画学の成立と背景」「初期シンポジウム」の紹介 資料 4

講演：「土木計画学」創立時の議論を振り返る

高橋裕先生、天野光三先生へのインタビュー動画 資料 5、資料 6

討議「土木計画学のフレーミングを考える」

- 司 会：藤井聡（京都大学大学院・同幹事長） 資料 7
- 登壇者：藤原章正（広島大学大学院教授・土木計画学研究委員会委員長） 資料 8
- 佐々木邦明（早稲田大学教授・前同幹事長） 資料 9
- 小池淳司（神戸大学大学院教授・同幹事） 資料 10